

景観に関する基礎調査

<目次>

基礎調査の目的と方法	1
文京区の景観特性と（仮称）文京区景観計画における基本方針との対応	3
文京区の景観特性の特徴と問題点	4
地 形 ：起伏に富んだ地形を象徴する坂道	4
歴史・文化：地域の景観の基礎となる歴史資産	6
：まちを彩る季節の風物	8
界 隈 ：個性溢れる多様なまちのまとまり	10
骨 格 ：都市の骨格をつくる軸	19
拠 点 ：特徴的な街かど	22
：拠点	23
緑 ：大規模な緑のまとまり	24
：憩いの空間となる公園	26
活 動 ：人の活動	28
調査対象リスト及び分布図	30

基礎調査の目的と方法

1 調査目的

①景観特性の整理

(仮称)文京区景観計画は、都市マスタープラン及び景観基本計画の内容を反映するものであるため、計画の策定に当たっては、これらの計画を基に、「地形」「歴史・文化」など、「文京区らしさ」を構成する要素や場所を「景観特性」として、整理する。

②景観特性の具体的な場所の把握

景観基本計画では、景観形成の基本方針として「起伏に富んだ地形」や「歴史あるまち」などの特性が挙げられており、それらの特性を表す具体的な場所については、数か所の例示のみ示されている。

(仮称)文京区景観計画では、景観特性の周辺に立地する建築物等の形態意匠・色彩・緑化・配置・外構などについて、景観特性を守り生かすよう指導・誘導していくための基準を「景観特性基準」として定めることとしているため、景観特性について全体像を把握し、具体的な場所を明確にする必要がある。そこで、既往文献及び現地踏査により調査する。

③景観特性ごとの特徴及び問題点の明確化

景観基本計画では、「地形の豊かさを感じさせる通りや場所の魅力を高める」「歴史的資産、施設の名称や地名などから喚起されるイメージを大切にする」などの方針が示されている。(仮称)文京区景観計画では、それらの方針を踏まえ、景観特性基準を定める根拠とするため、景観特性の特徴及び問題点を明確にする。

④景観形成の目標及び基本方針案の検討

①、②、③で得られた結果を基に、景観形成の目標及び基本方針について、検討を行うための方向性及び新たに加えるべき項目を抽出する。

⑤景観特性の項目及び景観形成の方向性の検討

①、②、③で得られた結果を基に、景観特性基準の検討を行うため、景観特性の項目を抽出し、景観形成の方向性を検討する。

2 調査方法

Step1：文京区の景観特性の把握・図面化

・「坂道」「公園」「歴史的建造物」「寺社・仏閣」「主要な道路」「河川」など、文京区の景観特性を既往文献等により整理し、地図に落とし込む。

＊景観特性については、都市マスタープランの「魅力を生かすまちづくり方針」に示されている魅力要素及び景観基本計画における基本方針を基に抽出する。

＜図面化した主な内容＞

坂道、国・都・区の指定文化財、登録文化財、寺社・仏閣、まとまった緑、公園、幹線道路、交差点、低層住宅地、河川、商店街、ロード・サポート、都市景観賞 他

Step2：現地調査による景観特性の特徴と問題点の把握

・整理した図面を基に現地調査を実施し、景観特性ごとの特徴と問題点について把握する。

【主な着眼点】

景観特性基準作成の根拠とするため、景観特性の周辺の建築物・工作物・屋外広告物の形態意匠、色彩、緑化、配置、外構について、以下の視点を重視して現地調査を行い、特徴と問題点を整理する。

○景観特性を際立たせている特徴は何か

（例：坂道沿いの石積みの擁壁、公園の近接地における見える緑の配置 など）

○景観特性を阻害している問題点は何か

（例：文化財周辺の広告物の派手な色彩、幹線道路沿いの建築物の不揃いな色彩 など）

3 結果

（1）調査目的①「景観特性の整理」、調査目的④「景観形成の目標及び基本方針案の検討」については、3ページ「文京区の景観特性と（仮称）文京区景観計画における基本方針との対応」にまとめた。

基本方針については、景観基本計画における5つの基本方針に加えて、新たに、「拠点における景観づくりに関する方針」「緑による景観づくりに関する方針」「区民等による景観づくりの推進に関する方針」の3つの基本方針を導きだした。

（2）調査目的③「景観特性ごとの特徴及び問題点の明確化」については、4～29ページ「文京区の景観特性の特徴と問題点」にまとめた。調査目的②「景観特性の具体的な場所の把握」は30～53ページ「調査対象リスト及び分布図」にまとめた。

（3）調査目的⑤「景観特性の項目及び景観形成の方向性」については、文京区の景観特性として「坂道」「歴史的資産」「個性あるまちのまとまり」「幹線道路」「拠点」「まとまりのある緑」の6つの項目を抽出した。

文京区の景観特性と (仮称) 文京区景観計画における基本方針との対応

景観特性		対応関係
地形	○ 起伏に富んだ地形を象徴する坂道	基本方針1 起伏に富んだ地形が誘起する風景の魅力を高める
歴史・文化	○ 地域の景観の基礎となる歴史資産	基本方針2 歴史あるまちの記憶を呼び起こす風景を大切にする
	○ まちを彩る季節の風物	
界限	○ 個性溢れる多様なまちのまとまり <ul style="list-style-type: none"> ● 歴史に培われた良好な低層住宅地 ● 江戸時代の町割りを引き継ぐ下町 ● 地場産業が集積したまち ● 寺院が集まる寺町 ● 賑わいのある商店街 ● 面的に整備された市街地 	基本方針3 界限ごとにきめ細かく展開する風景の個性を尊重する
骨格	○ 都市の骨格をつくる軸 <ul style="list-style-type: none"> ● 軸となる景観を形成する幹線道路 ● 神田川 	基本方針4 文京区ならではの風景像を支える骨格構造を際立たせる
拠点	○ 特徴的な街かど	基本方針5 自然環境を保全し、人にやさしい環境を整える
	○ 拠点	基本方針6 拠点における景観づくりに関する方針
緑	○ 大規模な緑のまとまり	基本方針7 緑による景観づくりに関する方針
	○ 憩いの空間となる公園	
活動	○ 人の活動	基本方針8 区民等による景観づくりの推進に関する方針

文京区の景観特性の特徴と問題点

<地形>

起伏に富んだ地形を象徴する坂道

文京区は台地と低地が複雑に入り組む起伏に富んだ地形を有している。そのため区内には多くの坂道が存在する*。勾配の緩急や延長、幅員、形状などによって多様な景観が見られ、区民の生活と密接に結びついてきた。

坂道のある風景や坂道を移動するにつれて変化する景色、坂道からの眺望などは、視覚的にも地形の豊かさを感じさせる。

*「ぶんきょうの坂道」(文京ふるさと歴史館/昭和55年)に掲載されている名のある坂道は115箇所ある。

—景観の特徴—

<高低差によって変化する景観>

坂道では高低差によって景色が大きく変化する。坂道を見上げる場合と見下ろす場合では、異なる景観が見られる。坂下から見上げる場合、台地の低層・中層住宅地を望む場合が多く、坂道を上にしたがい視界が開ける。また、坂上から見下ろす場合、低地の幹線道路方面を望む場合が多く、遠景には高層建築物が幾重にも重なって見えるなど、見る場所によって異なる景観を楽しませてくれる。



坂下から見上げる景観
(鳥尾坂 関口3丁目)



坂上から見下ろす景観
(梨木坂 本郷4、5丁目)

<斜面や擁壁の緑>

沿道の建物や擁壁、敷地内の緑、路面の仕上げなどは、坂道の景観を構成する重要な要素である。緑化が施された擁壁や歴史を感じさせる石積み擁壁のある坂道では、潤いのある坂道景観をつくりだしている。



石積みの擁壁
(藪下通り脇の坂道 千駄木1丁目)



擁壁の上の生垣
(胸突坂 白山1丁目)

<アイストップ>

坂道では、視線の先に見えるものにより受ける印象が大きく異なる。例えば豊かな緑やランドマークとなる建造物が見える場合、それらがアイストップとなり、坂道の景観をより印象深いものとしている。近年では、スカイツリーが見える坂道もある。



アイストップに緑がある
(善光寺坂 小石川2丁目)



視線の先にスカイツリーが見える
(無縁坂 湯島4丁目)

－問題点－

<圧迫感を感じさせる擁壁>

坂道に面する敷地では、擁壁を設ける場合が多く見られる。急な勾配の坂道であれば高い擁壁が、大規模な敷地では横方向に長大な擁壁が現れる場合があり、こうした大きく、単調な吹付け等が施された無表情な擁壁は、坂道の景観を阻害するとともに、圧迫感を感じさせる要因となっている。

<路面の色彩>

坂道では、安全性に配慮して路面を塗装している箇所があるが、必ずしも周辺のまち並みと調和したものとはなっていない。



路面が赤く目立っている坂道

地域の景観の基礎となる歴史資産

区内には、六義園や小石川後樂園など、国の重要文化財として指定されている日本でも有数の大名庭園が残されている。また、江戸時代から昭和初期までの歴史的な建築物、由緒ある寺社仏閣や邸宅、商家など、区民の身近なところにも、歴史的な佇まいを残す建物等が数多く分布している。

こうした地域の歴史を象徴する資産は、まちの歴史を感じさせるだけでなく、地域の個性を生かした景観づくりの基礎となる重要な価値を持っている。

一景観の特徴一

<歴史を象徴する

大名庭園や史跡等の景観>

六義園や小石川後樂園を始め、東京大学の赤門として親しまれている旧加賀屋敷御守殿門など、区内には、文化財としての価値が高く評価されている建物等がある。それらは、文京区の歴史の深さを象徴するとともに、地域の景観のシンボリックな存在となっている。



良質な緑が広がる六義園



本郷通りのシンボルとなっている
東京大学の赤門

<生活の中に息づく歴史の面影>

住宅地の一角に明治期から昭和初期にかけて建てられた瀟洒な邸宅が残されていたり、商店街の中に歴史ある木造の建物が残されていたりと、区民生活の身近な場所に、多くの歴史の面影を残している。



まち並みの一角
にある求道会館
(東京都有形文化財)



菊坂にある旧伊勢屋質店の土蔵
(国登録有形文化財)

＜門、塀などがつくるまち並み＞

建物だけでなく、通り沿いの特徴的な門や塀なども、まち並み景観をつくりだす重要な要素の一つであり、歴史の風格を感じさせてくれる。



趣のあるレンガ塀
(常泉院)



重厚感のある門柱
(芦葉家邸宅)

＜歴史的建造物の敷地内の緑＞

護国寺や吉祥寺などの大規模な寺院の敷地内には、丁寧に管理されてきた樹木が多く残されており、遠くからも視認できる緑のまとまりが形成されている。

また、邸宅等の小規模な歴史的建造物が建つ敷地には、高木が残っている場合が多く、敷地内の緑がまち並みに潤いを与えている。



丁寧に管理された寺院内の樹木
(左：護国寺、右：吉祥寺)



敷地内の緑がまち並みに潤いを与えている
(左：橋本家住宅、右：島藺家住宅)

－問題点－

＜配慮を欠いた周辺建物＞

歴史的建造物に隣接した建物の中には、配管や室外機などの設備を歴史的建造物に向けて設置しているものがあり、歴史的建造物から周辺を見渡した際の景観を阻害している。

＜歴史的建造物の佇まいと調和しない意匠の建物＞

歴史的建造物の後背に、大規模な建物の無表情で長大な壁面が見える箇所があり、圧迫感を感じさせる。

＜屋外広告物＞

歴史的建造物の敷地周辺で、けばけばしい色彩の広告物等が見られる箇所がある。

<歴史・文化>

まちを彩る季節の風物

文京区では「文京花の五大まつり」をはじめ、季節に合わせて四季折々の花や紅葉などを楽しめる様々なイベントが行われている。開催期間中は区民だけではなく、広域から多くの人が集まり、その季節ならではの風景を楽しんでいる。

一 景観の特徴一

<四季折々の花がつくる風景>

播磨坂の「さくらまつり」を始め、根津神社の「つつじまつり」、白山神社の「あじさいまつり」、湯島天満宮の「菊まつり」「梅まつり」は、「文京花の五大まつり」として親しまれ、四季折々の花がつくる潤いある景観をつくりだしている。



さくらまつり（播磨坂）



つつじまつり（根津神社）



あじさいまつり（白山神社）



菊まつり（湯島天満宮）



梅まつり（湯島天満宮）

<街路樹>

区の木としても指定されているイチョウを始めとして、幹線道路沿いには、街路樹が多く植えられている。春から夏にかけては青々と茂り、秋には黄色に色付くなど、季節によって変化する街路景観を演出している。



目白通りのイチョウ並木



本郷通りのイチョウ並木

－問題点－

＜配慮を欠いた建物＞

まつりの会場となる寺社等の敷地の周辺に立地し、草花の背景として見える建物の中には、配管や室外機などの設備があらわになっているものもあり、必ずしも景観に配慮されたものとなっていない状況が見られる。

< 界隈 >

個性溢れる多様なまちのまとめ

区内には、江戸時代の町割りを継承した良好な低層住宅地や、庶民のまちとして親しまれてきた下町、印刷・製本関連の事業所が集積するまちなどがある。こうした特徴的なまちのまとめが、個性溢れるまち並み景観をつくりだしている。

歴史に培われた良好な低層住宅地

江戸時代の町割りを継承した高台の良好な住宅地、明治時代の阿部家により開発された西片町、大正時代の岩崎家により開発された大和郷といった、計画的に開発された住宅地が当時のまちの構成のまま継承され、歴史に培われた風格のあるまち並み景観をつくっている。

— 景観の特徴 —

< 江戸・明治の町割りを継承した道路・街区構成 >

小日向は、細い路地に囲まれた短冊状の街区など、江戸時代末期の町割りを継承しており、全体的に道路幅員が狭く、T字路や屈曲した道路が多い独特の空間が形成されている。また、西片は、比較的幅員の広い道路に囲まれた街区が形成されており、それぞれに個性あるまち並みが歴史性と風格を感じさせる。



鳩山会館沿いの緑豊かな路地空間
(小日向)



緩やかな曲線状の道路と沿道の
緑豊かな戸建住宅 (小日向)

< 緑豊かな住宅地景観 >

樹木や生垣を外構に施している住宅が多いため、緑豊かで潤いのある住宅地の景観が形成されている。

特に、小日向は敷地規模が大きく、建物自体は奥に、道路側には緑を配置している住宅が多く、全体としてゆとりと豊かさを醸し出している。



石積みの塀と豊かな植栽を
施した集合住宅 (小日向)



接道部に生垣を設置した住宅
(西片)

<表情のある外壁や外構>

敷地規模が大きくないため、前庭や豊かな樹木を設置するスペースがない場合でも、住宅の外壁の意匠・素材や外構の工夫により、まち並みに表情を与えているものが見られる。



外壁の凹凸や自然素材を用いたルーバーなどの外構の工夫が見られる低層集合住宅（小日向）

－問題点－

<圧迫感や閉鎖的な印象を与える塀>

住宅地の中には、表情のない高いコンクリート塀が連続して建っている箇所や、老朽化した単調なブロック塀などで取り囲まれている建物があり、圧迫感のある閉鎖的な景観となっている箇所が見られる。

<駐車場によりまち並みの連続性が分断>

賃貸駐車場や戸建て住宅の駐車スペースに植栽等による目隠しなどの配慮・工夫が見られず、自動車が道路に面してむき出しになっている箇所があり、低層住宅や樹木の連なりによるまち並みの連続性が分断されてしまい、良好な景観を損ねている箇所がある。

<多様な形態意匠の住宅が立地>

戸建て住宅や低層集合住宅、和風や洋風、新しいものや古いもの、歴史性を感じるものからハウスメーカーの建売住宅などが多種多様な建物が共存しているため、住宅の意匠・素材・色彩などの統一感のあるまち並みが形成されていない状況が見られる。

江戸時代の町割りを引き継ぐ下町

根津神社の門前町として栄えた根津や文化人ゆかりの地として名高い千駄木などは、江戸時代から「庶民のまち」として賑わいのあった下町で、表通り・横丁・裏通り・路地といったまち並みを構成している。中でも路地は人々の生活空間であり、下町らしさを象徴している。

— 景観の特徴 —

<路地と木造建物に残る下町風情>

路地と木造住宅の境界に塀は少なく、敷地内に植えられた緑や鉢植えなどによる緑が溢れ出しており、路地と建物の親密な関係が生む、下町独特の生活感溢れる景観を見ることができる。



路地と住宅が織り成す
下町の景観（根津）



敷地境界を越えて緑が溢れ出している
（根津）

— 問題点 —

<下町らしい景観の保全>

根津や千駄木では、不忍通り沿道やその周辺において、商業系の用途地域に指定されている地域が多く、木造建築の密集エリアに、新たに共同化等による大規模建築物が建設されたり、戸建てであっても、木造住宅がモダンな意匠のものに建て替わったりすることで、下町らしさが失われる可能性がある。

<維持管理の行き届かない老朽住宅>

木造住宅は、下町の風情を感じさせる要素の一つであるが、維持管理が行き届かず、老朽化が進んでいるものもあり、良好なまち並み景観を形成する要素として十分に生かされていない。

<路地空間のブロック塀>

建物によっては、道路と敷地の境界にブロック塀が設置されている箇所がある。幅員が狭い路地空間では、ブロック塀などの無機質で単調な塀が連続することで、より圧迫感や閉鎖的な印象を与えている。

地場産業が集積したまち

千川通り周辺や水道周辺には印刷・製本関連の事業所が集積したまち並みが見られる。これらの事業所が集積した地域では、地場産業そのものが地域の個性的な景観となっている。

— 景観の特徴 —

< 地場産業がつくる景観 >

通りからも作業が行われている様子が見られ、文京区を代表する産業が醸し出す特色ある景観が広がっている。



地場産業の集積
(千川通り周辺)



働く様子も景観の一つとなっている
(千川通り周辺)

— 問題点 —

< 道路利用者への配慮 >

地区特有の個性的な景観が形成されている反面、道路上に作業資材等が置かれるなど、道路利用者への配慮を要する状況が見られる。

< 調和を欠いた建物の立地 >

比較的小規模な印刷・製本関連の事業所が集積したまち並みの中に、集合住宅などの規模の大きな建物が建つことで、地場産業のまち並みの連続性が阻害されるとともに、周辺に対して、圧迫感を感じさせる場合がある。

寺社が集まる寺町

江戸の明暦大火後に中心部から集団移転した寺社を中心に、寺町として発展してきた界隈が本駒込、向丘、白山それぞれの地区に残されている。

— 景観の特徴 —

<奥行き感のある佇まい>

寺町ならではの景観として、山門や鳥居から参道が延び、その先に本堂等があり、奥行き感のある落ち着いた佇まいが残されている。



奥行き感のある入口
(左：天祖神社、右：常德寺)

<重厚な寺院建物>

鳥居、山門や本堂など、歴史を感じさせる重厚な建造物が随所に見られ、身近に歴史・文化に触れることができる。



重厚な門構え (吉祥寺)



本堂のどっしりとした瓦屋根
(浩妙寺)

<緑の創出>

寺院の敷地内にある年輪を重ねた大きな樹木は、周辺からも見ることができ、地域やまち並みに潤いを与えている。



周辺からも見ることが出来る寺院の緑
(左：瑞泰寺、右：海蔵寺)

＜閉鎖的な外構＞

寺院は周辺に比べて敷地が大きいいため、設けられる塀も長く高いものになる。

万年塀やブロック塀のような無機質な壁面が連続する場所では、単調な空間が連続して広がり、また、そのような塀に挟まれた狭い通路では、閉鎖的で圧迫感がある薄暗い景観をつくり出している。

＜配慮を欠いた周辺建物＞

幹線道路沿いにある寺院では、隣接する高層の建物が寺院に背を向けた配置となっているものが多く、配管設備や非常階段がむき出しになっていたり、開口部が極端に少なかったりと、寺院からの見え方に配慮を欠いた意匠となっているものが見られる。

＜寺町の佇まいと調和しない意匠の建物＞

寺院の周辺に現代的な意匠の建物が建てられ、歴史ある佇まいを感じさせる寺院の集積による特徴的な雰囲気との調和を欠いている景観が見られる箇所がある。

＜景観要素として十分に生かされない＞

幹線道路沿いにある寺院は、山門の両脇に高層建物等が建ち並んでいる状況が多く見られ、通りからの視認性が低く、景観資源としての存在感が薄れ、十分に生かされたものとなっていない。

賑わいのある商店街

住民の日常生活に密着したサービスを提供している商店が連なる商店街では、生活感があり賑わいのある景観が見られる。

一景観の特徴一

<地域に即した商店街の形成>

区内には多くの商店街があり、景観も様々である。中には歴史ある建築物が残され、活用されているものなども見られる。



生活用品店が並ぶ地藏通り商店街
(関口)



飲食店が並ぶ千三中部平和会
(千駄木)



木造3階建ての建物を利用
した飲食店(はん亭・根津)

<賑わいの演出>

インターロッキングブロックなどの舗装整備や照明器具、装飾の統一などにより、商店街の賑わいを演出しているところもある。



フラッグの統一
(白山下商店会)



舗装整備された商店街
(柳町仲通り商店会)

－問題点－

<賑わいの連続性が断たれた商店街>

商店街の一角に、植栽やオープンスペースのない、閉鎖的な外構のマンション等が立地することで、賑わいやまち並みの連続性が損なわれている状況が見られる。

<看板のデザイン等>

無造作に設置された、けばけばしいデザインの上り旗や多すぎる看板、フラッグなどは、景観を阻害する要素となっている。

面的に整備された市街地

本郷、湯島、本駒込、教育の森公園周辺などは、戦災復興や震災復興土地区画整理事業により整備された街区構成を基本としたまち並みが形成されている。

— 景観の特徴 —

< 整った道路・街区構成 >

見通しが良い通りが多く、また、計画的に整備された大規模公園や施設があり、秩序だった緑豊かな景観が形成されている。

特に、教育の森周辺地域は、公園や学校などの大規模敷地も多く、道路沿いの植栽やアイストップとなっている公園の樹木等により、緑が連続する通り景観が形成されている。



見通しの良い通りと学生会館敷地の植栽（教育の森公園周辺）



見通しの良い通りと学校敷地の植栽（教育の森公園周辺）

< 低中層建築物を主体とした まち並み景観 >

地区外周部（幹線道路沿い）は高層建物が多いが、地区内は全体的に低中層（2～5階程度）の建物が多く、比較的落ち着いたまち並みが形成されている。



中層建築物が建ち並ぶまち並み
（左：本郷、右：教育の森公園周辺）

— 問題点 —

< 通りに対して閉鎖的な建物の外壁や外構部 >

地区内の敷地規模は概して大きくないため、建物は敷地いっぱい建てられるケースが多い。そのため、公園の向かいに開口部の少ない建物壁面が連続していたり、配管や室外機が設置されている壁面が露出していたりと、景観への配慮に欠けた建物が見られる。

< 多様な用途・意匠の建物が混在したまち並み >

事務所ビルや中層の集合住宅、低層の戸建て住宅など、多様な用途や意匠の建物が混在して建てられている。そのため、基盤が整備された市街地ではあるものの、必ずしも建物の意匠や色彩などに統一感のあるまち並みが形成されていない状況が見られる。

<骨格>

都市の骨格をつくる軸

幹線道路や河川などは、都市の軸となり、骨格を形づくる主要な要素であるとともに、それらをつくりだす带状の景観もまた、都市景観の軸となる重要な要素である。

軸となる景観を形成する幹線道路

区内には、区内外を連絡し、また、拠点相互を連絡する主要幹線道路や生活幹線道路がある。幹線道路は、都市の骨格を形成するとともに、軸となる景観をつくりだしている。

一景観の特徴一

<見通しのきく景観>

幹線道路は幅員が広く、線形も直線や緩やかな曲線の道路が多いため、遠くまで見通しのきく景観が形成されている。



幅員が広く見通しの良い幹線道路
(左：本郷通り、右：白山通り)

<ランドマークを望む眺望>

幹線道路の視界が開けた場所では、護国寺やスカイツリーなど、遠方のランドマークが見える場所がある。



視線の先に護国寺が見える
(音羽通り)



視線の先にスカイツリーが見える
(春日通り)

<街路樹の景観>

幹線道路沿いには、区の木でもあるイチョウを中心にハナミズキやトウカエデなど、多くの街路樹が植えられており、緑のネットワークを形成するとともに、潤いのある景観をつくりだしている。



街路樹が潤いを与えている
(目白通り)

＜沿道建物の景観＞

区内の幹線道路沿道の用途地域は、路線式の商業地域又は近隣商業地域に指定されているため、商業・業務系の土地利用を中心にした商店街が見られるなど、賑わいのある景観を形成している。

幹線道路沿道には中高層の建物が数多く建ち並ぶ景観が見られる。その一方で、本郷通りなど古くからある幹線道路の沿道では、昔ながらの佇まいを見せる建物が残り、新旧の建物が共存した特徴的な景観も見られる。

－問題点－

＜屋外広告物＞

沿道には、華美な屋外広告物が数多く見られ、賑わいを演出している反面、まち並みの調和を欠いている場合がある。

＜幹線道路裏側の景観＞

高度利用が進み、中高層化が図られた沿道建物の裏側には低層住宅地が広がる。そうした場所では、中高層の建物が低層住宅地へ圧迫感を与えている場合がある。

建物の側面や裏側に、配管などの設備や非常階段などがむき出しに設置され、幹線道路側に比べて配慮に欠けた景観となっているものが見られる。

＜スカイラインが不揃いな沿道建物＞

幹線道路沿道の建物の壁面の位置や建物の高さが揃わず、景観を損ねているものが見られる。

＜建築物側面の意匠や色彩＞

隣接する建築物の高さが異なる場合、高い方の建築物の側面が見えてしまうため、側面に配管や非常階段がむき出しで設置されている建築物は、雑然とした沿道景観を形成する要因のひとつになっている。

また、幹線道路側に正面を向けた建築物が建ち並ぶ中、開口部等がない無表情な側面を向けた建築物があることで、統一感を欠いた沿道景観となっている箇所も見られる。

神田川

神田川は、文京区で唯一水面を見ることができる河川であり、川沿いには遊歩道や並木が整備されている。これら水と緑は、都市空間の中で自然を感じることができる景観となっている。また曲線を描く川の流れは、緩やかな軸の景観も形成している。

— 景観の特徴 —

< 自然を強く認識できる景観 >

地形を感じさせる緩やかな曲線や、水面や岸辺の緑などにより、都市空間の中で自然を強く認識できる景観となっている。



神田川沿いの桜並木
(江戸川公園入口)



お茶の水橋から上流を見た
神田川の眺め

< 川沿いの緑 >

神田川沿いの要所には並木や量感のある豊かな緑がある。それらの緑と水がつくる空間は、都市の中で潤いを感じさせる景観となっている。



水面に映る岸の並木 (江戸川橋)



お茶の水橋から下流を見た
神田川の眺め

— 問題点 —

< 薄暗い印象の河川景観 >

神田川の一部の区間では、緑が少なく南側に平行して高速道路が建造されていたり、川に背を向けて建物が建っていたりすることで、都市の軸となる景観を薄暗い印象にしている。



緑の連なりがなく高速道路が
影を落とす薄暗い景観

< 親水性に欠ける護岸 >

緑も少なく、コンクリートの護岸が連続して切り立っている場所では、親水性に欠ける景観となっている。特に、平行して高速道路が走る水道二丁目から後楽二丁目にかけては、川岸を歩けるような遊歩道もなく、川の存在を身近に感じられない景観となっている。

<拠点>

特徴的なまちかど

拠点となる地区の周辺では、ジェットコースターや観覧車などの施設が見られる場所があり、まち並みに大きなアクセントを与えている。また区内の各所にはポケットパーク等の小さなスポットやまち中に設置されたモニュメントなども、個性的なまちかどの景観を演出している。

—景観の特徴—

<個性的な街かど>

特徴的な施設や市街地の中に設置されたオブジェ等のアート作品が、個性的なまちかどを演出している。



遊園地の施設と
地下鉄丸ノ内線（本郷）



地下鉄飯田橋駅入口の
オブジェ（後楽）

<都市の中の憩い空間>

まち並みの一角に設置されたオープンカフェや小さなスペースを利用して整備されたポケットパークなどは、都市の中の潤いスポットとなっている。



通りと一体となった
オープンカフェ
（水道橋駅周辺）



歩道のスペースを利用した
ポケットパーク
（春日町交差点）

—問題点—

<魅力を発揮しきれていないまちかど>

石碑などが立ち、歴史の刻まれたまちかどや憩いの空間と成り得るまちかどであっても、人混み等に埋もれ、魅力を発揮しきれていない場所が見られる。

<拠点>

拠点

区民の活動や生活の中心となる拠点は、多くの人を訪れ交流する場所であり、文京区の顔としての景観整備が求められる。

—景観の特徴—

<地域拠点>

文京シビックセンター周辺、根津駅・千駄木駅周辺、茗荷谷駅・教育の森公園周辺の地域拠点には、商業施設や事業所、さらにレジャー施設があるなど、人々が集まり、賑わいのある拠点らしい景観が見られる。



シビックセンター周辺



根津駅周辺

<生活拠点>

山の手地域東部の白山駅周辺と、山の手地域西部の江戸川橋駅周辺の生活拠点では、商店街を中心とした活気あるまち並み景観が見られる。



江戸川橋駅周辺



白山駅周辺

—問題点—

<シンボル性のない景観>

根津駅や白山駅周辺では、文京区の顔となるようなシンボルが駅前がないため、拠点としての存在感が薄れたものとなっている。

<ゆとりを感じにくい地下鉄駅周辺>

地域拠点や生活拠点周辺は、地下鉄駅が核となっている。地下鉄入口は方々に別れており、出入口付近で滞留できるオープンスペースがないことから、ゆとりを感じにくい状況となっている。

<緑>

大規模な緑のまとまり

区内には、小石川後樂園や六義園など江戸時代の大名庭園が残されているほか、大学や公園、寺社等の境内など、広い敷地で緑を有した場所では、大規模な緑のまとまりによって潤いある景観を形成している。

一景観の特徴一

<斜面地緑や緑のスカイライン>

斜面地にある豊かな緑は、視覚的に立体感のある景観をつくりだしている。また、一部では連続した緑がつくりだす緑のスカイラインを見られる場所もあり、潤いが感じられる。



斜面の緑が連なり形成されたスカイライン（新江戸川公園）

<ランドマークとなる

緑のまとまり>

護国寺や東京大学などの大規模敷地は、ボリューム感のある緑が形成されており、歴史性とも相まって、緑のランドマークとなっている。



ボリューム感のあるまとまった緑（左：護国寺、右：東京大学）

<自然が感じられる景観>

まとまった緑のある敷地の中からは、空も広く、自然が強く感じられる景観が見られる。



池越しに広がる空（六義園）



遮るものない広い視界（目白台運動公園）

<緑視率の高い景観>

敷地内にあるまとまった緑が、塀越しに見えたり、透過性のある塀などにより敷地外からも緑を身近に感じたりすることができ、潤いのある緑視率の高い景観となっている。



煉瓦塀から歩道に溢れでる緑
(東京大学)



敷地内の緑も見通せる透過性のある塀
(国際仏教学大学院大学)

－問題点－

<閉鎖的な大規模敷地の塀>

敷地境界に長大で単調なブロック塀等が設置されている場合には、塀越しの緑は望めるものの、身近に緑を感じることができず、閉鎖的な印象を与える。

<植栽の乏しい周辺建物>

公園や庭園など、大規模な緑のまとまりの周辺であっても、接道部に植栽のない建物があることで、大規模な緑との連続性が断たれてしまっている場合がある。

憩いの空間となる公園

区内には、住宅地の一角にある小さな公園からサッカーやテニスの楽しめる運動公園、平坦な公園や高低差のある公園など多種多様な種類の公園があり、区民の身近な憩いの空間となっている。

一景観の特徴一

<親しみの持てる樹木や遊具>

区民等が日常的に利用する公園には、木陰をつくる樹木や遊具などがあり、また、そこで憩い、遊ぶ人々が織り成す親しみの持てる景観が広がっている。



木陰をつくる樹木と遊具
(左：久堅公園、右：西片公園)

<斜面を活かした景観>

斜面に立地する公園は、地形の変化に富んでおり、立体的で奥行き感のある景観を形成している。



立体感のある斜面の緑
(左：清和公園、右：江戸川公園)

<公園からの眺望>

台地など高台の開けた場所からは、低地の建物や緑を見下ろすことができ、区内のまち並み景観を一望することができる。



斜面地に建つ住宅の屋根の連なりを一望
(小日向公園)

－問題点－

＜閉塞感や薄暗さを生む塀＞

公園の立地や隣接する建物への配慮などから、外周を塀等で囲っている場合、塀の仕上げや木立との位置関係などが、図らずも、閉塞感や薄暗さを生み、公園の景観を阻害する要因になっている。

＜植栽の乏しい周辺建物＞

公園の周辺であっても、接道部に植栽のない建物があることで、公園の緑との連続性が図られていない箇所がある。

＜配慮を欠いた周辺建物＞

公園に隣接した建物の中には、配管や室外機などを公園に向けてむき出しに設置しているものがあり、公園内から周辺を見渡した際の景観を阻害している。

<活動>

人の活動

区内では、「文の京ロード・サポート」や町会などによる美化活動をはじめ、地域資源のマップづくりや歴史的な建物の保全・活用の支援など、文京区の景観づくりに貢献する活動が、区民や地元企業、NPO等の手によって各所で行われている。

一景観の特徴一

<区民等による公共空間の 清潔な景観の維持・創出>

地域住民や民間企業、NPO等により、道路や公園の清掃活動が盛んに行われており、公共空間の清潔感のある景観が維持されている。



地域の人々によって維持管理されている通り
(左：「青年」の散歩道、右：文京学院大学女子高等学校)



町会が行う公園の清掃活動
(須藤公園 景観活動賞受賞)



NPOが行う花壇の手入れ
(春日町交差点ポケットパーク
景観活動賞受賞)

<敷地前面を利用した花等による まち並みの演出>

樹木や鉢植え、草花などをしつらえることにより、通りに面したスペースを豊かに演出している住宅が見られる。こうした住民一人ひとりの小さな取組や工夫が、通りを歩く人にも安らぎを与え、生活感の感じられる生き生きとしたまち並みをつくりだしている



敷地内の空いたスペースに
草花を飾りまち並みを演出
(湯島)



むき出しの駐車スペースに鉢植え
を置き無表情な印象を和らげる
(小日向)

－問題点－

＜落書き＞

塀等への落書きによって景観を損ねている場所がある。

調査対象リスト及び分布図

起伏に富んだ地形を象徴する坂道

■坂道（計115件）

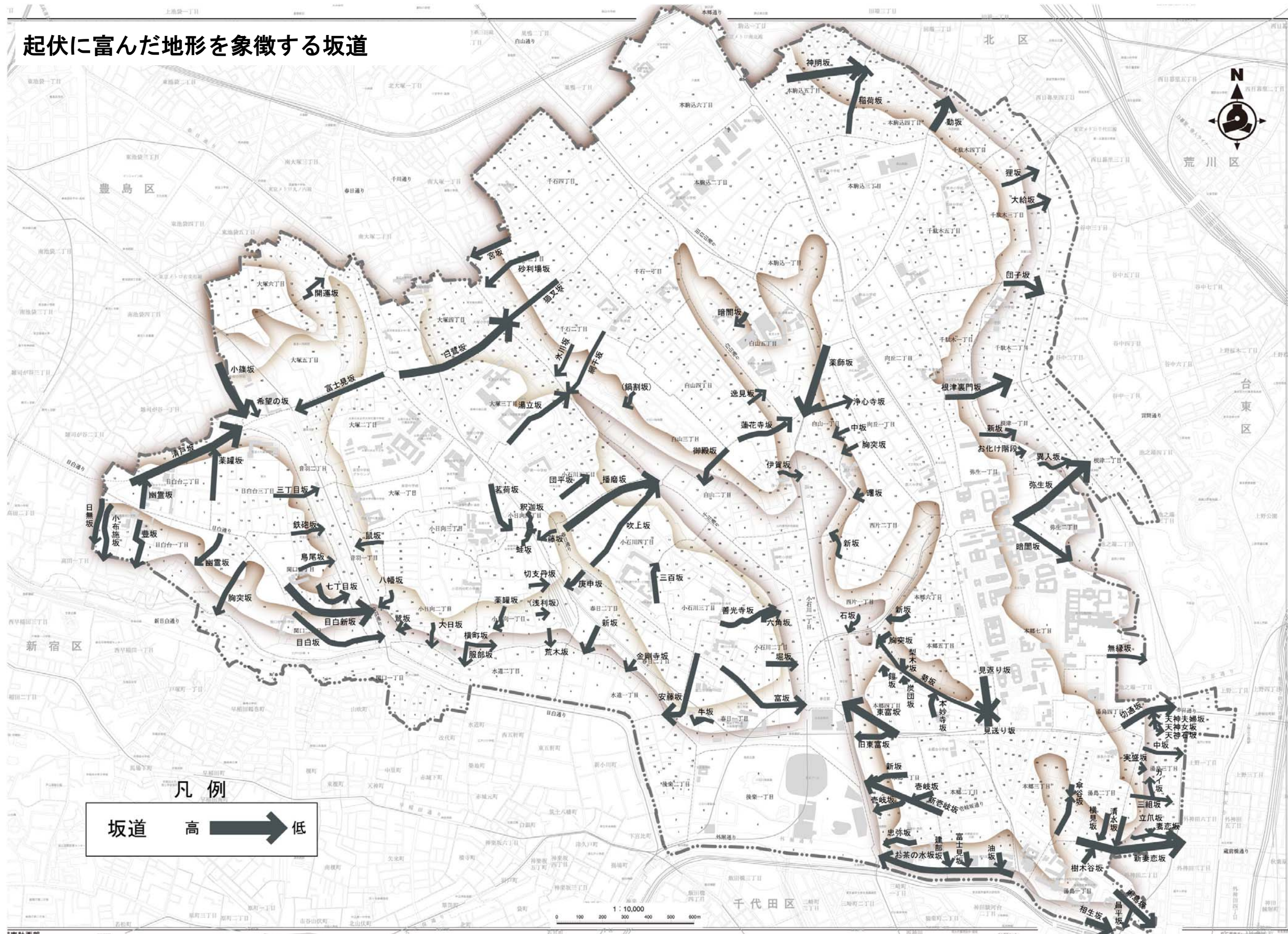
番号	名称	所在地
1	相生坂(昌平坂)	湯島1丁目4 湯島聖堂前
2	昌平坂(団子坂)	湯島1丁目1と4の間
3	湯島坂(明神坂・本郷坂)	湯島1丁目2と4の間
4	樹木谷坂(地獄谷坂)	湯島1丁目7と8の間
5	妻恋坂(大超坂・大長坂・大帳坂・大潮坂)	湯島3丁目1と2の間
6	新妻恋坂	湯島3丁目1の南側蔵前橋通り
7	清水坂	湯島2丁目1と3丁目1の間
8	横見坂(横根坂)	湯島2丁目7と8の間
9	立爪坂(芥坂)	湯島3丁目2と6の間
10	三組坂	湯島3丁目4と20の間
11	ガイ坂(芥坂)	湯島3丁目15と19の間
12	実盛坂	湯島3丁目20と21の間
13	中坂(仲坂)	湯島3丁目21と29の間
14	天神石坂(天神男坂)	湯島3丁目30 湯島天満宮境内
15	天神女坂	湯島3丁目30 湯島天満宮境内
16	天神夫婦坂	切通坂から湯島天満宮に上る坂
17	切通坂	湯島3丁目30と4丁目5の間
18	無縁坂(武縁坂)	湯島4丁目12と旧岩崎家住宅の間
19	傘谷坂	本郷3丁目22と湯島2丁目17の間
20	油坂(揚場坂)	本郷2丁目1と2の間
21	富士見坂	本郷2丁目と2と3の間
22	建部坂(初音坂)	本郷1丁目と2丁目の間
23	お茶の水坂	本郷3丁目順天堂前から水道橋への外堀通り
24	忠弥坂	本郷1丁目3と5の間
25	壱岐坂(壱岐殿坂)	本郷2丁目26と27の間 本郷1丁目19と21の間
26	新壱岐坂	本郷1丁目10と26の間
27	新坂(外記坂)	本郷1丁目25と33の間
28	東富坂(真砂坂)	本郷1丁目35と4丁目15の間
29	旧東富坂(鳶坂・飛坂)	本郷1丁目29と35の間
30	見送り坂	本郷4丁目37先の本郷通り
31	見返り坂	本郷5丁目23先の本郷通り
32	本妙寺坂	本郷4丁目5と8の間
33	炭団坂	本郷4丁目10と35の間
34	梨木坂(梨坂)	本郷5丁目6と7の間
35	鎧坂	本郷4丁目11と20の間
36	菊坂	本郷4丁目と5丁目の間
37	胸突坂	本郷5丁目9と33の間
38	新坂	本郷5丁目33と6丁目11の間
39	石坂	西片1丁目3と14の間
40	新坂(福山坂)	西片1丁目12と2丁目6の間
41	曙坂(徳永坂)	西片2丁目7と14の間
42	胸突坂(峰月坂・新道坂)	西片2丁目15と白山1丁目24の間
43	中坂	白山1丁目24と27の間
44	浄心寺坂(お七坂)	白山1丁目32と33の間
45	薬師坂(薬師寺坂・浄雲寺坂・白山坂)	白山1丁目と5丁目の間
46	伊賀坂	白山2丁目28と29の間
47	蓮華寺坂(蓮花寺坂・御殿裏門坂)	白山2丁目と4丁目の間
48	逸見坂	白山4丁目33と34の間
49	暗闇坂	白山5丁目9と12の間
50	暗闇坂	本郷7丁目と弥生2丁目5の間
51	弥生坂(鉄砲坂)	弥生1丁目と2丁目の間
52	異人坂	弥生2丁目14と20の間
53	お化け階段	弥生2丁目と根津1丁目の間
54	新坂(権現坂・S坂)	根津1丁目21と28の間

番号	名称	所在地
55	根津裏門坂	根津1丁目と千駄木2丁目の間
56	団子坂(潮見坂・千駄木坂・七面坂)	千駄木2丁目と3丁目の間
57	大給坂	千駄木3丁目27と28の間
58	狸坂	千駄木3丁目12と20の間
59	動坂(不動・堂坂)	本駒込4丁目と千駄木4丁目の間
60	稻荷坂	本駒込4丁目と5丁目の間
61	神明坂	本駒込5丁目内の不忍通り
62	鍋割坂(病人坂)	小石川植物園内(現存せず)
63	網干坂(網曳坂)	白山3丁目と千石2丁目の間
64	氷川坂(鯉川坂)	千石2丁目10と13の間
65	湯立坂(湯坂)	小石川5丁目と大塚3丁目の間
66	宮坂	千石3丁目19と21の間
67	砂利場坂	千石3丁目17と18の間
68	猫又坂(猫狸坂・猫股坂)	千石2丁目と3丁目の間
69	白鷺坂	大塚3丁目と4丁目の間
70	富士見坂	大塚2丁目と5丁目の間
71	開運坂	大塚5丁目と6丁目の間
72	富坂(西富坂・飛坂・鳶坂)	春日1丁目と小石川2丁目の間
73	牛坂(鮫干坂・蠣殻坂・潮見坂)	春日1丁目5 北野神社北側
74	安藤坂(網干坂・安藤殿坂)	春日1丁目と2丁目の間
75	堀坂(宮内坂・源三坂)	小石川2丁目3と20の間
76	六角坂	小石川2丁目17と18の間
77	善光寺坂	小石川2丁目と3丁目の間
78	三百坂(三貊坂)	小石川3丁目6と4丁目2の間
79	御殿坂(大坂・富士見坂・御殿表門坂)	白山2丁目と3丁目の間
80	吹上坂(禿坂)	小石川4丁目4と20の間
81	播磨坂	小石川4丁目と5丁目の間
82	団平坂(丹平坂・袖引坂)	小石川5丁目9と10の間
83	金剛寺坂(蝙蝠坂・新鳶坂)	春日2丁目4と5の間
84	新坂(今井坂)	春日2丁目7と8の間
85	荒木坂	小日向1丁目1と4の間
86	浅利坂	小日向1丁目14の辺りにあった(現存せず)
87	庚申坂(切支丹坂)	春日2丁目と小日向4丁目の間
88	切支丹坂(幽霊坂)	小日向1丁目16と24の間
89	藤坂(富士坂・禿坂)	小日向4丁目3と4の間
90	釈迦坂	小日向4丁目4 徳雲寺裏
91	蛙坂(復坂)	小日向1丁目23と25の間
92	茗荷坂	小日向4丁目と大塚1丁目の間
93	葉罐坂(野罐坂)	小日向1丁目10と11の間
94	横町坂	小日向1丁目7と8の間
95	服部坂	小日向1丁目7と2丁目16の間
96	大日坂(八幡坂)	小日向2丁目17と18の間
97	鷺坂	小日向2丁目19と21の間
98	八幡坂	音羽1丁目6と小日向2丁目25の間
99	鼠坂	音羽1丁目10と13の間
100	目白坂(不動坂)	関口2丁目2と3の間
101	目白新坂(新坂・椿坂)	関口2丁目と3丁目の間
102	鉄砲坂	関口3丁目と目白台3丁目の間
103	三丁目坂	目白台3丁目5と29の間
104	鳥尾坂	関口3丁目9と11の間
105	七丁目坂	関口3丁目1と3の間
106	胸突坂(水神坂)	関口2丁目と目白台1丁目の間
107	幽霊坂	目白台1丁目の和敬塾西側
108	豊坂	目白台1丁目7と9の間
109	小布施坂	目白台1丁目15と16の間
110	日無坂(東坂)	目白台1丁目15と豊島区の間

番号	名称	所在地
111	幽霊坂(遊霊坂)	目白台2丁目8と9の間
112	葉罐坂(夜寒坂)	目白台2丁目と3丁目の間
113	清戸坂(清土坂)	目白台2丁目9と10の間
114	小篠坂(小笹坂)	大塚5丁目護国寺西側池袋への坂道
115	希望の坂	大塚5丁目40 青柳小学校への坂道

出典: ぶんきょうの坂道 文京ふるさと歴史館

起伏に富んだ地形を象徴する坂道



地域の景観の基礎となる歴史資産

■国指定重要有形文化財(建造物) (計6件)

番号	指定年月日	名称	所在地	所有者(管理者)	備考
1	昭和6年1月19日	護国寺本堂	大塚5-40-1	護国寺	元禄11年建
2	昭和6年1月19日	護国寺月光殿(旧日光院客殿)	大塚5-40-1	護国寺	桃山時代建
3	昭和6年12月14日	旧加賀屋敷御守殿門(赤門)	本郷7-3 (東大構内)	東京大学	文政10年建
4	昭和6年12月14日 (但し、銅灯笼2基、西門、透塀、楼門は昭和31年6月28日)	根津神社本殿、幣殿、拝殿、(附/銅灯笼2基)、唐門、西門、透塀、楼門(計7棟)	根津1-28-9	根津神社	宝永3年建
5	昭和45年6月17日	旧東京医学校本館	白山3-7-1 小石川植物園	東京大学	明治9年建
6	平成17年12月27日	旧磯野家住宅主屋表門土地	小石川5-19-4	大谷美術館	大正元年建

■国指定特別史跡及び特別名勝 (計1件)

番号	指定年月日	名称	所在地	所有者(管理者)	備考
1	大正12年3月7日	小石川後楽園	後楽1-6-6	東京都(建設局所管)	昭和27.3.29 特別指定

■国指定特別名勝 (計1件)

番号	指定年月日	名称	所在地	所有者(管理者)	備考
1	昭和15年8月30日	六義園	本駒込6-16-3	東京都(建設局所管)	昭和28.3.31 特別指定

■国指定史跡 (該当箇所5件中1件、計1件)

番号	指定年月日	名称	所在地	所有者(管理者)	備考
1	大正11年3月8日	湯島聖堂	湯島1-4-25	国(文部科学省所管)	斯文会

■都文化財(建造物) (計4件)

番号	指定年月日	名称	所在地	所有者(管理者)	備考
1	昭和39年4月28日	半床庵	千駄木3-13-13	(財)官休庵 東京支部	
2	昭和45年8月3日	湯島天満宮表鳥居	湯島3-30-1	湯島天満宮	
3	平成6年3月23日	求道会館	本郷6-20-5	(宗)求道会	
4	平成10年3月13日	旧細川侯爵邸	目白台1-21-2	(財)和敬塾	

■都指定史跡 (該当箇所7件中1件、計1件)

番号	指定年月日	名称	所在地	所有者(管理者)	備考
1	昭和39年4月28日	駒込名手屋敷	本駒込3-40-3	個人	

■都指定名勝 (計1件)

番号	指定年月日	名称	所在地	所有者(管理者)	備考
1	平成10年3月13日	旧安田楠雄邸庭園	千駄木5-20-17	(財)日本ナショナルトラスト	

■区指定文化財・建造物 (計10件)

番号	指定年月日	名称	所在地	所有者(管理者)	備考
1	昭和49年11月1日	日本女子大学・成瀬記念講堂1棟	目白台2-8-1	日本女子大学	
2	昭和49年11月1日	吉祥寺経蔵1棟	本駒込3-19-17	吉祥寺	
3	昭和50年11月1日	護国寺大師堂1棟	大塚5-40-1	護国寺	
4	昭和50年11月1日	護国寺薬師堂1棟	大塚5-40-1	護国寺	
5	昭和51年11月1日	護国寺惣門1棟	大塚5-40-1	護国寺	
6	昭和51年11月1日	護国寺鐘楼(付梵鐘)1棟	大塚5-40-1	護国寺	
7	昭和52年11月1日	講安寺本堂および庫裏(付文書2)各1棟	湯島4-12-13	講安寺	
8	昭和55年11月1日	西教寺表門(朱殿門)1棟	向丘2-1-10	西教寺	
9	昭和57年11月1日	護国寺仁王門1棟	大塚5-40-1	護国寺	
10	平成19年10月1日	旧成瀬仁蔵住宅(日本女子大学成瀬記念館分館) 1棟 付 家具14点	目白台2-8-1	日本女子大学	

■国登録文化財(建造物) (計51件)

番号	指定年月日	名称・員数	所在地	建築年代
1	平成8年12月20日	東京大学大講堂(安田講堂)1棟	本郷7-3-1	大正14年
2	平成10年9月2日	村川家住宅主屋1棟	目白台3-18-9	明治44年
3	平成10年9月2日	村川家住宅洋館1棟		明治44年
4	平成10年9月2日	村川家住宅蔵1棟		大正9年
5	平成10年9月2日	村川家住宅門1棟		明治43年
6	平成10年9月2日	弥生正緑館(渋谷家住宅洋館)主屋1棟		弥生1-2-3
7	平成10年9月2日	弥生正緑館(渋谷家住宅洋館)庭門1棟	明治39年	
8	平成10年9月2日	新町館(三宅家住宅)1棟	白山1-29-5	昭和初期
9	平成10年9月2日	さかえビル1棟	本郷3-38-10	昭和9年
10	平成10年9月2日	平野家住宅主屋1棟	西片2-9-12	大正10年
11	平成10年9月2日	平野家住宅洋館1棟		大正11年
12	平成10年9月2日	平野家住宅蔵1棟		大正11年頃
13	平成10年9月2日	平野家住宅茶室1棟		大正11年頃
14	平成10年9月2日	平野家住宅住宅門1棟		大正11年頃
15	平成10年9月2日	平野家住宅茶室門1棟		大正11年頃
16	平成10年9月2日	橋本家住宅1棟	西片2-8-11	昭和8年
17	平成10年10月9日	東京大学本郷正門及び門衛所1棟	本郷7-3-1	明治45年
18	平成10年10月9日	東京大学工学部1号館1棟		昭和10年
19	平成10年10月9日	東京大学法文1号館1棟		昭和10年
20	平成10年10月9日	東京大学法文2号館1棟		昭和13年
21	平成10年10月9日	東京大学法学部3号館1棟		昭和2年
22	平成10年10月9日	東京大学工学部列品館1棟		大正14年
23	平成10年12月11日	日本基督教団本郷中央教会1棟	本郷3-37-9	昭和4年
24	平成10年12月11日	金澤家住宅主屋1棟	西片2-2-7	昭和5年
25	平成10年12月11日	金澤家住宅洋館1棟		昭和5年
26	平成10年12月11日	金澤家住宅門及び塀1棟		昭和5年
27	平成11年8月23日	はん亭1棟	根津2-12-15	大正6年
28	平成12年9月26日	鳳明館本館1棟	本郷5-10-5	明治30年代(昭和初期改造)
29	平成13年8月28日	日本基督教団根津教会1棟	根津1-19-6	大正中期
30	平成13年8月28日	日本基督教団根津教会門及び塀1基		大正中期
31	平成13年10月12日	島藺家住宅主屋1棟	千駄木3-3-3	昭和7年(昭和16年増築)
32	平成14年6月25日	棚澤書店1棟	本郷6-18-12	明治期
33	平成15年1月31日	旧伊勢屋質店見世1棟	本郷5-9-4	明治40年
34	平成15年1月31日	旧伊勢屋質店土蔵1棟		明治初期(明治20年移築)
35	平成15年1月31日	旧伊勢屋質店座敷棟1棟		明治23年
36	平成15年3月18日	椿山荘三重塔1棟	関口2-10-8	室町末期(大正14年に広島から現在地に移築)
37	平成15年3月18日	瀬川家住宅(旧古市家住宅)主屋1棟	本郷2-35-10	明治20年頃(昭和初期増築)
38	平成15年3月18日	瀬川家住宅(旧古市家住宅)蔵1棟		昭和初期
39	平成15年3月18日	進開屋1棟	千石2-30-6	昭和初期
40	平成15年9月19日	伊勢五主屋1棟	千石3-38-9	明治初期
41	平成15年9月19日	伊勢五蔵1棟		明治前期(昭和3年改修)
42	平成16年2月17日	椿山荘残月1棟	関口2-10-8	大正中期(昭和22年移築)
43	平成16年6月9日	日本聖公会東京教区 東京諸聖徒教会礼拝堂1棟	千石2-18-4	昭和6年
44	平成17年2月9日	芦葉家住宅倉庫1棟	千駄木3-9-1	昭和9年
45	平成17年2月9日	芦葉家住宅門1対		昭和9年
46	平成20年3月7日	お茶の水女子大学本館1棟	大塚2-35	昭和7年
47	平成20年3月7日	お茶の水女子大学講堂1棟		昭和7年
48	平成20年3月7日	お茶の水女子大学表門1基		昭和11年
49	平成20年3月7日	お茶の水女子大学付属幼稚園園舎1棟		昭和6年
50	平成22年4月28日	田口家住宅主屋1棟	西片2-10-14	明治前期
51	平成22年9月10日	東京大学野球場観覧席 ダッグアウト及びフェンス1棟	弥生1-1-1	昭和12年

出典:文京区HP

■寺院(計126件)

番号	名称	所在地
1	安閑寺	白山2-13-13
2	一音寺	向丘1-9-28
3	一行院	千石1-14-11
4	栄松院	向丘2-35-7
5	永泉寺	関口2-3-18
6	圓乗寺	白山1-34-6
7	圓通寺	本駒込2-19-8
8	圓満寺	湯島1-6-2
9	海蔵寺	向丘2-25-10
10	願行寺	向丘2-1-5
11	喜運寺	白山2-10-3
12	吉祥寺	本駒込3-19-17
13	喜福寺	本郷5-29-13
14	教元寺	本駒込2-19-2
15	景久院	小石川3-19-2
16	桂林寺	目白台3-3-11
17	源覚寺	小石川2-23-14
18	還国寺	小日向2-19-7
19	見樹院	小石川3-4-14
20	顕本寺	向丘2-28-2
21	講安寺	湯島4-12-3
22	興安寺	本郷1-8-19
23	光雲寺	小石川2-16-2
24	光圓寺	小石川4-12-8
25	江岸寺	本駒込2-26-15
26	高源院	大塚3-8-4
27	光源寺	向丘2-38-22
28	興善寺	西片1-15-6
29	浩妙寺	向丘2-11-10
30	高林寺	向丘2-37-5
31	護国寺	大塚5-40-1
32	嚴浄院	白山2-30-5
33	西岸寺	春日1-12-12
34	西教寺	向丘2-1-10
35	西信寺	大塚5-2-10
36	西善寺	向丘1-13-8
37	三念寺	本郷2-15-6
38	慈眼院	小石川3-17-12
39	慈照院	小石川4-12-6
40	寂円寺	白山4-37-30
41	十方寺	向丘2-29-1
42	常願寺	小石川5-7-5
43	正行寺	向丘1-13-6
44	称仰院	湯島4-12-3
45	浄心寺	白山1-36-11
46	浄心寺	向丘2-17-4
47	常瑞寺	向丘2-29-10
48	昌清寺	本郷1-8-3
49	生西寺	小日向1-10-18
50	常泉院	春日1-9-3
51	定泉寺	本駒込1-7-12
52	浄台院	小石川3-15-9
53	常德寺	本駒込3-7-16
54	浄土寺	白山4-35-18
55	稱名寺	小日向1-4-11

番号	名称	所在地
56	心光寺	白山5-36-5
57	深光寺	小日向4-9-5
58	真珠院	小石川3-7-4
59	心城院	湯島3-32-4
60	真浄寺	向丘2-26-9
61	新福寺	白山3-1-23
62	瑞泰寺	向丘2-36-1
63	清光院	小日向2-17-2
64	清林寺	向丘2-35-3
65	是照院	白山2-20-1
66	世尊院	千駄木1-22-30
67	専教院	小日向3-6-10
68	善光寺	小石川3-17-8
69	専西寺	向丘2-28-9
70	善心寺	大塚5-2-7
71	善仁寺	小石川4-13-19
72	善仁寺	小日向1-5-9
73	専念寺	千駄木1-22-22
74	善雄寺	小石川2-22-2
75	仙龍寺	本駒込1-8-13
76	宗慶寺	小石川4-15-17
77	大運寺	本駒込1-18-12
78	大雲寺	白山2-14-6
79	大圓寺	小日向2-9-20
80	大圓寺	向丘1-11-3
81	大泉寺	関口2-3-15
82	大林寺	向丘2-27-11
83	多福院	春日2-13-7
84	智願寺	小日向2-18-3
85	智香寺	大塚3-28-7
86	長元寺	向丘2-27-5
87	長源寺	本駒込2-20-10
88	長泉寺	本郷5-6-1
89	潮泉寺	本駒込1-1-5
90	天栄寺	本駒込1-6-16
91	傳通院	小石川3-14-6
92	天然寺	本駒込2-20-8
93	伝明寺	小日向4-3-11
94	道栄寺	小日向2-1-22
95	洞泉寺	本駒込3-19-4
96	徳雲寺	小日向4-4-1
97	徳源院	本駒込3-7-14
98	徳性寺	本駒込1-3-15
99	南谷寺	本駒込1-20-20
100	日輪寺	小日向1-4-18
101	念速寺	白山2-9-12
102	福衆院	小石川3-2-23
103	福勝寺	小日向1-8-15
104	法真寺	本郷5-27-11
105	法蔵院	小石川3-5-4
106	法傳寺	白山2-12-22
107	本伝寺	大塚4-42-23
108	本念寺	白山4-34-7
109	本法寺	小日向1-4-15
110	妙清寺	白山5-33-15
111	妙足院	小日向2-17-6

番号	名称	所在地
112	養源寺	千駄木5-38-3
113	養国寺	関口2-3-19
114	養昌寺	本駒込1-20-17
115	龍雲院	白山5-5-5
116	龍閑寺	春日2-6-12
117	龍光寺	本駒込1-5-22
118	龍泉寺	白山4-37-10
119	麟祥院	湯島4-1-8
120	林泉寺	小日向4-7-2
121	靈雲寺	湯島2-21-6
122	靈樹院	本駒込2-21-1
123	蓮久寺	白山5-30-6
124	蓮華寺	白山2-38-11
125	蓮光寺	関口3-9-16
126	蓮光寺	向丘2-38-3

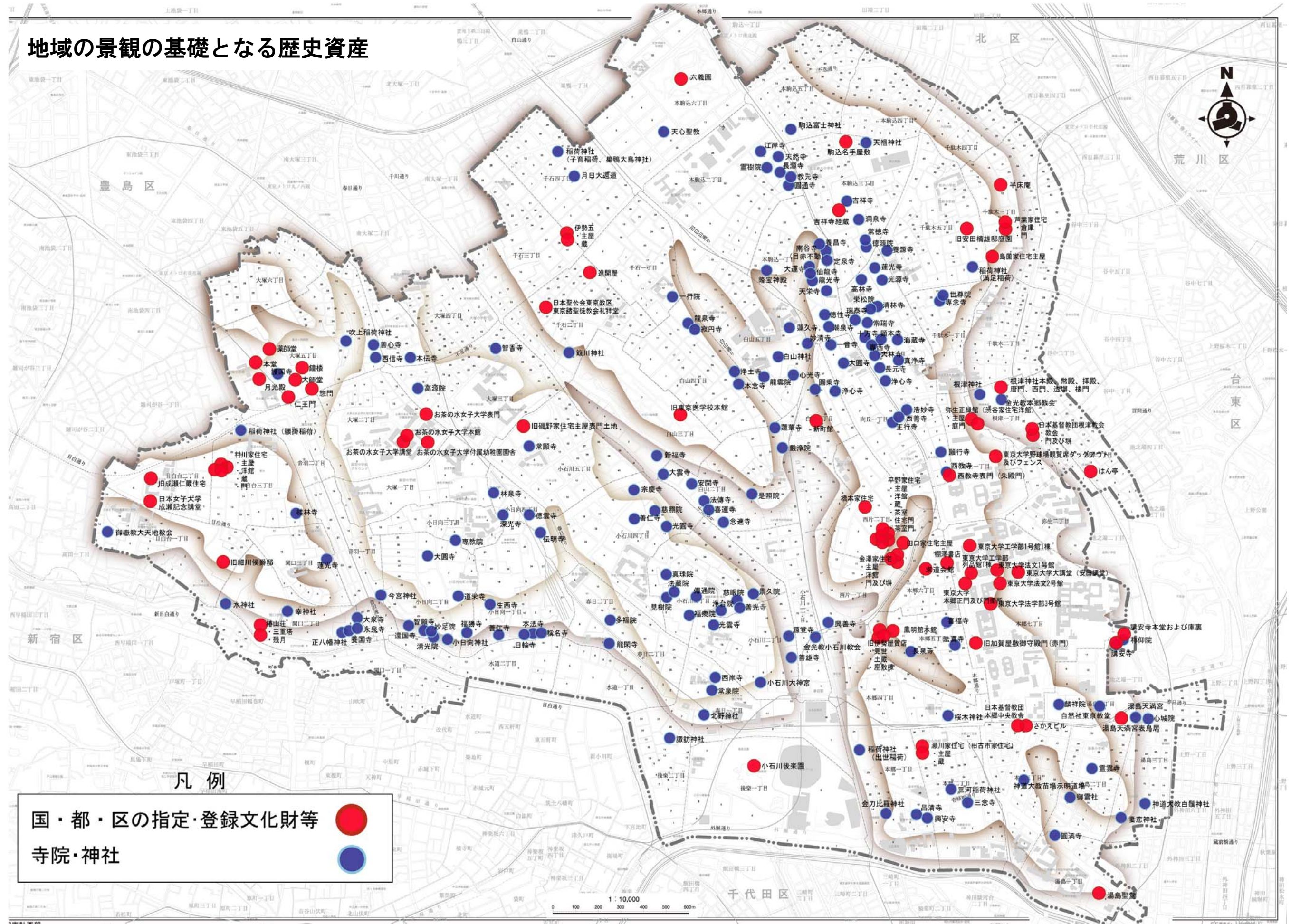
出典:寺院一覽(文京区提供)

■神社(計36件)

番号	名称	所在地
1	簸川神社	千石2-10-10
2	稲荷神社(満足稲荷)	千駄木5-2-8
3	富士神社	本駒込5-7~20
4	三河稲荷神社	本郷2-20-5
5	桜木神社	本郷4-3-1
6	湯島神社	湯島3-30-1
7	妻恋神社	湯島3-2-6
8	水神社	目白台1-1-9
9	正八幡神社	関口2-3-21
10	幸神社	関口2-6-1
11	今宮神社	音羽1-4-4
12	稲荷神社(子育稲荷、巢鴨大鳥神社)	千石4-25-15
13	稲荷神社(出世稲荷)	本郷1-33-17
14	諏訪神社	後楽2-18-18
15	北野神社	春日1-5-2
16	稲荷神社(腰掛稲荷)	目白台3-26-1
17	小日向神社	小日向2-16-6
18	天祖神社	本駒込3-40-1
19	御霊社	湯島2-11-15
20	白山神社	白山5-31-26
21	根津神社	根津1-28-9
22	吹上稲荷神社	大塚5-21-11
23	小石川大神宮	小石川2-5-7
24	金刀比羅神社 (正式名称:金刀比羅宮東京分社)	本郷1-5-11
25	神道大教苗場示明道場	本郷3-14-13
26	神道大教白鬚神社	湯島3-7-8
27	神道大教北畠公大教会	駒込浅嘉町70
28	神道大教伏見公社	武島町12
29	自然社東京教堂	湯島4-5-17
30	神道集成派開元教会	駒込坂下町222
31	御嶽教大天地教会	目白台1-11-15
32	金光教本郷教会	根津1-26-11
33	金光教小石川教会	小石川1-7-3
34	天心聖教	本駒込6-10-21
35	月日大還道	千石4-34-10
36	隆宝神殿	本駒込1-12-14

出典:神社一覽(文京区提供)

地域の景観の基礎となる歴史資産



凡例

- 国・都・区の指定・登録文化財等 ●
- 寺院・神社 ●

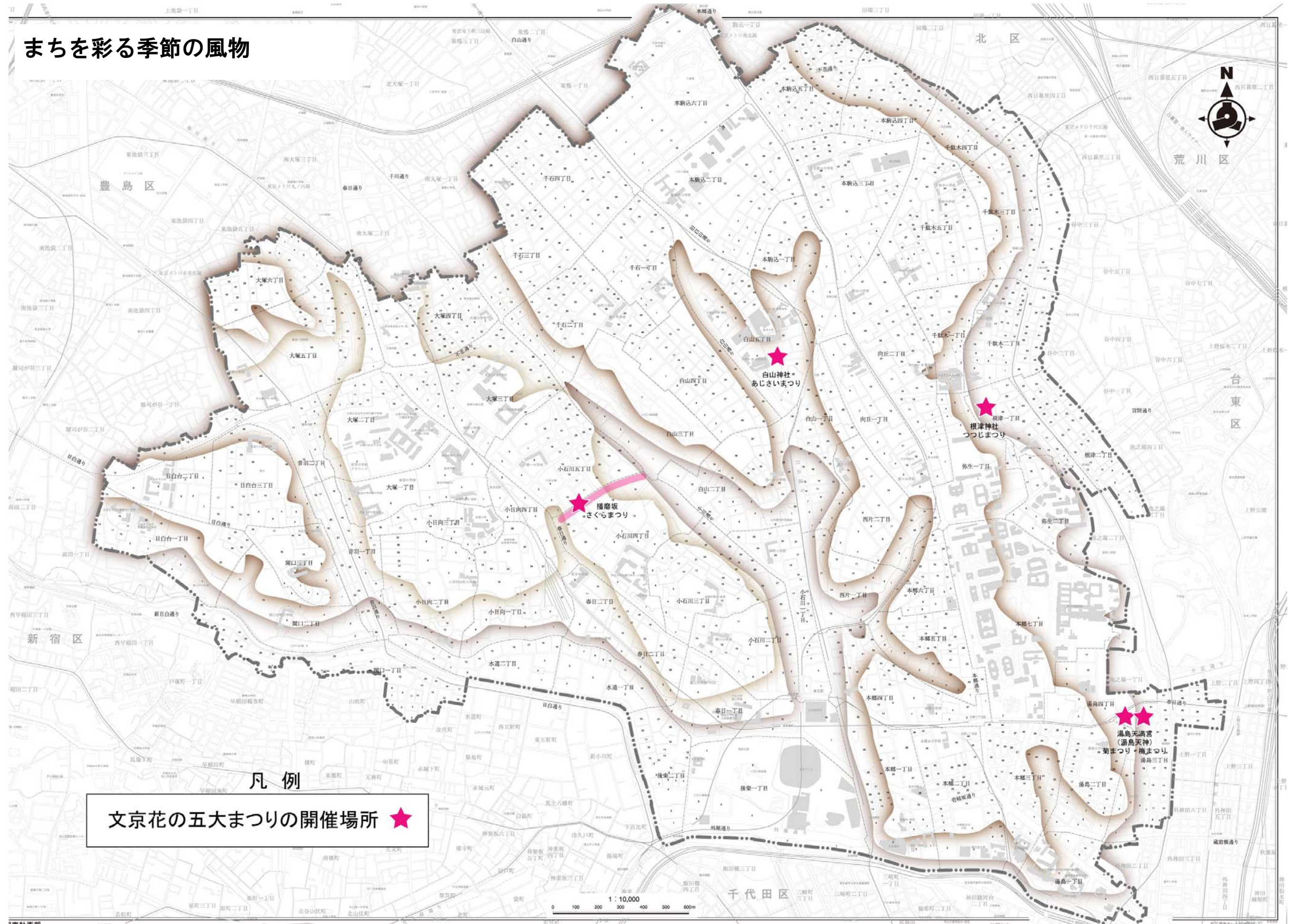
まちを彩る季節の風物

■文京花の五大まつりの開催場所

番号	名称	所在地	まつり
1	播磨坂	小石川4丁目、5丁目	さくらまつり
2	根津神社	根津1-28-9	つつじまつり
3	白山神社	白山5-31-26	あじさいまつり
4	湯島天満宮	湯島3-30-1	菊まつり、梅まつり

出典：文京区HP

まちを彩る季節の風物



凡例
文京花の五大まつりの開催場所 ★

個性溢れる多様なまちのまとめ

■第一種低層住居専用地域

番号	所在地
1	本駒込6丁目の一部
2	千石2丁目、白山3丁目、4丁目の一部
3	西片1丁目、2丁目の一部
4	関口3丁目の一部
5	関口2丁目の一部
6	小日向1丁目、2丁目の一部
7	目白台1丁目の一部

出典：都市計画図

■下町

番号	所在地
1	根津、千駄木の一部

■同業種の集積

番号	業種	所在地
1	旅館の集積	本郷6丁目周辺
2	医療機器関連の事業所の集積	本郷3丁目周辺
3	印刷・製本関連の事業所の集積	千川通り周辺、水道周辺

■寺町

番号	所在地
1	向丘、千駄木、本駒込の一部

■商店街（計66件）

番号	名称	所在地
1	赤門前商興会	本郷6丁目付近、東大赤門付近
2	江戸川橋共栄会	関口1丁目付近、江戸川橋IC出口南部
3	エンマ商盛会	小石川2丁目付近、春日駅西部
4	追分通り三面大黒天商栄会	向丘1-16付近
5	大観音通り商栄会	千駄木1-20、千駄木5-5、向丘2-30付近
6	大塚坂下町親交会	大塚5丁目付近
7	大鳥商店会	千石4丁目付近
8	春日駅通り商店会	春日駅北西付近
9	菊坂ロード	本郷4-28付近、春日駅北東、本郷五郵便局付近
10	共盛会	大塚6丁目付近
11	金花商店振興会	本郷3丁目と湯島2丁目の境目付近
12	文の郷商店街振興組合	本郷4丁目付近、春日駅東
13	京華通り商店会	白山5-1付近 白山駅南
14	小石川すずらん通り商店会	小石川2丁目、春日駅北西、こんにやくえんま付近
15	後楽共栄会	後楽2丁目付近、大江戸線飯田橋駅北西部
16	小桜商店会	水道、印刷博物館付近
17	白梅商店会	湯島3丁目付近、JR御徒町駅東
18	新大塚駅前商店会	新大塚駅前
19	神明町商盛会	本駒込4丁目、本駒込図書館付近
20	千川通り商店会	小石川5-34付近
21	千川通りミツワ商店会	小石川1-26付近
22	千石本町通り商店会	千石4丁目付近、千石駅北西
23	千三中部平和会	千駄木3丁目信号東付近
24	千駄木二丁目商店街振興組合	千駄木2丁目付近、千駄木駅南
25	団子坂下共栄会	千駄木駅付近
26	団子坂下三和会	千駄木駅東、初音交番付近
27	地藏通り商店街振興組合	関口1-7付近
28	伝通院前通り三盛会	春日2-24付近、春日通り伝通院交差点周辺地域
29	東京ドームシティラクーアテナント会	春日1-1付近
30	東大農学部前通り商睦会	東大農学部南付近

番号	名称	所在地
31	東大前商店会	東大前、本郷通り付近
32	東洋大前通り商店会	白山5-17付近
33	道灌山下平和会	千駄木3丁目、不忍通り沿い道灌山下信号付近
34	動坂上通り商店会	千駄木5丁目、本駒込3丁目付近
35	動坂商栄会	千駄木4丁目付近、不忍通り沿い道灌山下信号北西
36	動坂商店会	千駄木4丁目付近、不忍通り沿い動坂下信号付近
37	動坂中央通り商店会	千駄木4-13付近
38	根津銀座通り商睦会	根津駅付近、言問通り沿い
39	根津宮永商盛会	根津駅南付近
40	白山上向丘商店街振興組合	本駒込駅南、旧白山通り付近
41	白山下商店会	白山駅南、白山下信号付近
42	花みずき商店会	春日4丁目付近、竹早中学校北部
43	氷川下共栄会	千石3丁目信号付近
44	福德会	小石川4丁目、春日2丁目付近
45	本郷大横丁通り実業会	本郷2-31付近 壹岐坂付近
46	本郷二・三丁目商店会	本郷3丁目駅付近
47	本郷四・五丁目商店会	本郷5-3付近、本郷3丁目交差点と菊坂付近
48	本郷五丁目実業会	本郷3丁目駅から本郷通りを北上した付近
49	本郷田町商店	春日駅北部付近
50	坊っちゃん商栄会	向丘2-13付近、根津神社坂上
51	眞弓商店会	本郷1-35付近
52	宮前通り商栄会	本郷6丁目付近
53	茗荷谷五協会	茗荷谷駅南付近
54	目白台親和会	護国寺IC西側付近
55	メロ・エム後楽園商店会	春日1-2付近
56	八重垣謝恩会	根津2-20付近、千代田線根津駅付近
57	柳町仲通り商店会	小石川1-13付近、春日駅北、白山通り
58	よみせ通り商栄会	道灌山通り沿い、千駄木駅と日暮里駅の間付近
59	シビックセンター会	春日1-16付近
60	東京ドームシティミーツポート会	後楽1-3付近
61	文京グリーンコート商業テナント会	本駒込2-28付近
62	白山上共栄会	本駒込1-1付近
63	動坂坂通り商盛会	本駒込4-20付近
64	団子坂会	千駄木3-35付近
65	後楽園前商業振興会	水道橋駅付近
66	小石川さくら商盛会	小石川4-15付近

* 概ねの場所を記載

出典: 文の京観光ガイド商店街マップ「おさんぼくん」、文京区提供資料、文京区商店街連合会HP

■戦災復興、震災土地区画整理事業により整備された基盤施設がある地域

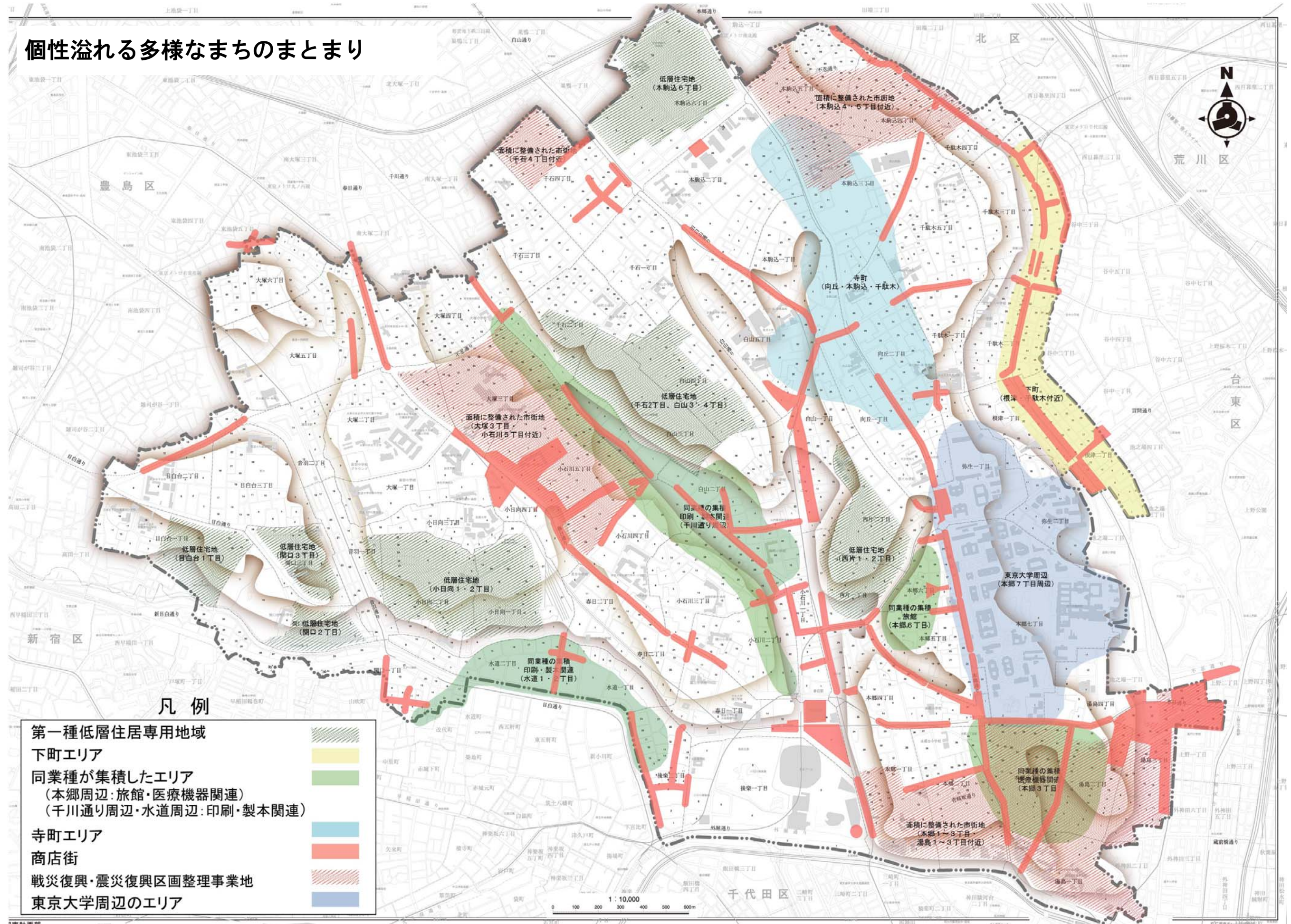
番号	所在地
1	湯島1~3丁目、本郷1~3丁目の一部
2	本駒込3~5丁目の一部
3	大塚3丁目、小石川4丁目、5丁目の一部
4	千石4丁目の一部

出典: 都市計画図

■東京大学一帯

番号	所在地
1	東京大学とその周辺

個性溢れる多様なまちのまとめり



都市の骨格をつくる拠点や軸

■拠点

番号	所在地	
1	都心地域(文京シビックセンター周辺)	地域拠点
2	下町隣接地域(根津駅・千駄木駅周辺)	地域拠点
3	山の手地域(茗荷谷駅・教育の森公園周辺)	地域拠点
4	白山駅周辺	生活拠点
5	江戸川駅周辺	生活拠点

出典:都市計画マスタープラン

■幹線道路

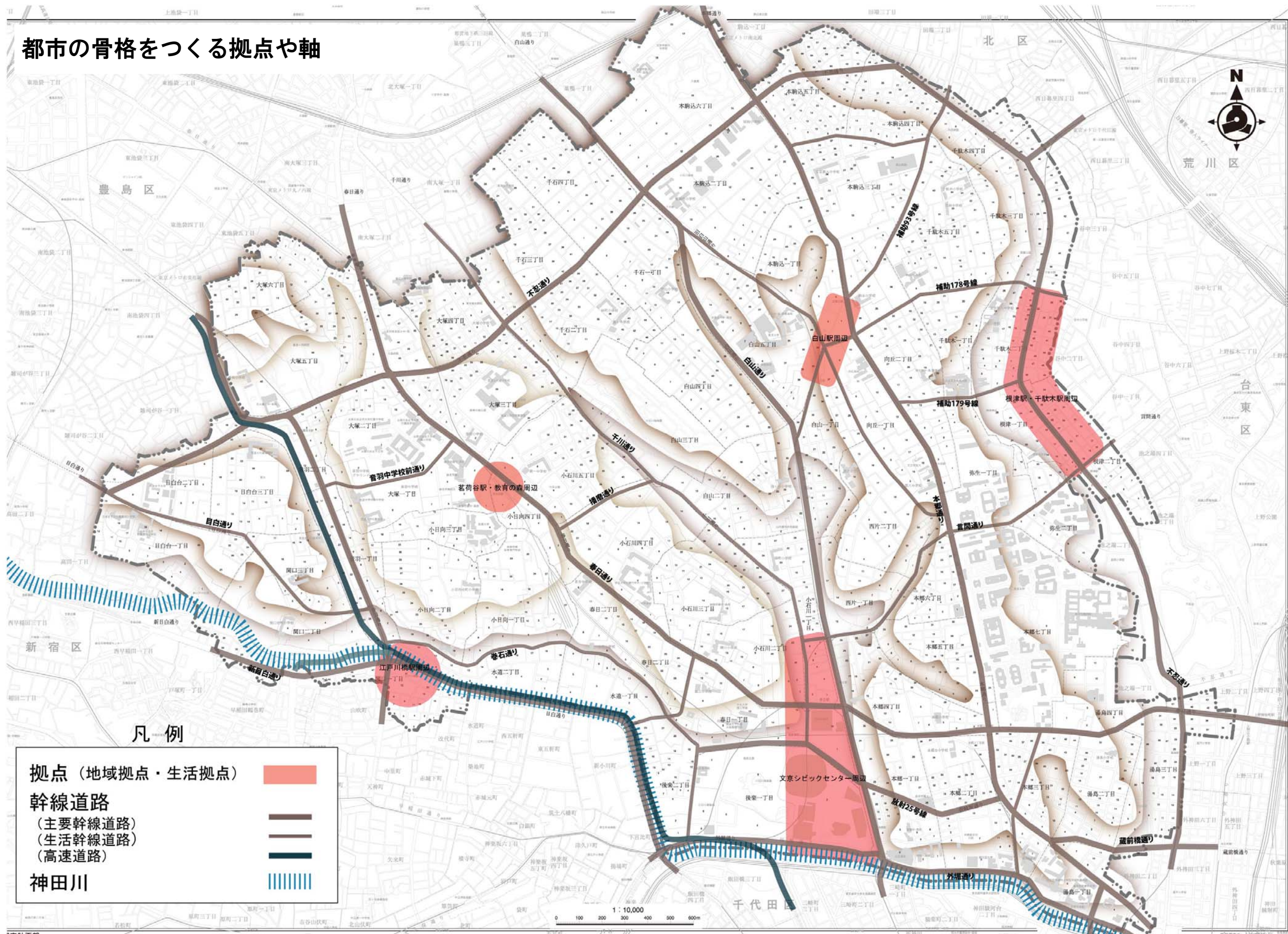
番号	所在地
1	主要幹線道路
2	生活幹線道路

出典:都市計画マスタープラン

■河川

番号	所在地
1	神田川

都市の骨格をつくる拠点や軸



拠点（地域拠点・生活拠点）



幹線道路



（主要幹線道路）



（生活幹線道路）



（高速道路）



神田川

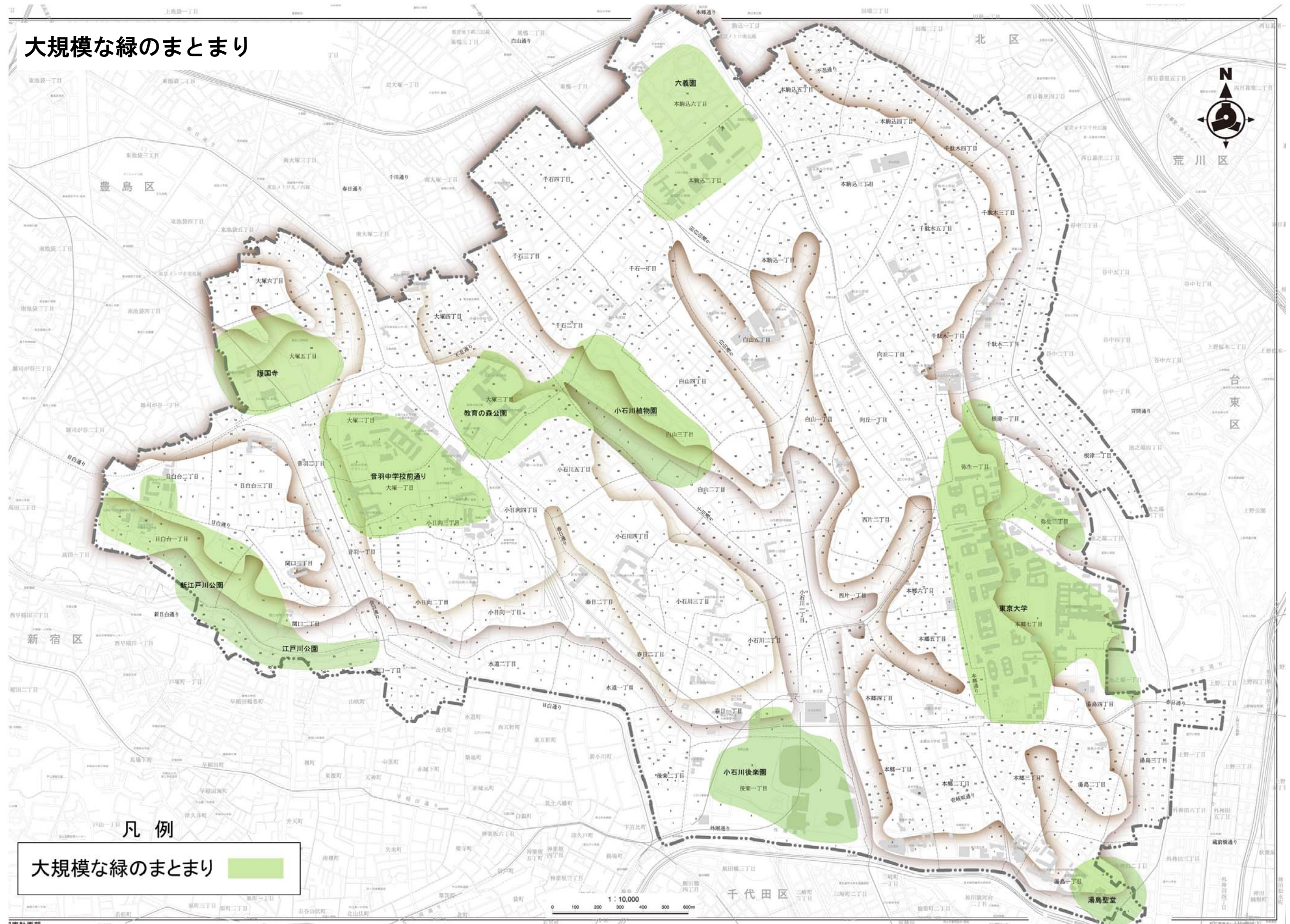


大規模な緑のまとめり

番号	所在地
1	六義園一帯
2	護国寺一帯
3	小石川植物園一帯
4	教育の森公園一帯
5	音羽中学校前通り一帯
6	東京大学一帯
7	新江戸川公園・江戸川公園一帯
8	小石川後楽園一帯
9	湯島聖堂一帯

出典:都市計画マスタープラン(将来都市構造図)

大規模な緑のまとめり



憩いの空間となる公園

■公園（計43件）

番号	名称	所在地	面積(㎡)	設置年月日	区開園年月日	特色
1	大塚公園	大塚4-49	15377.5	昭和3年3月31日	昭和25年10月1日	大噴水、彫刻、広場、露壇
2	元町公園	本郷1-1	3519.5	昭和5年1月25日	昭和25年10月1日	露壇、カスケード
3	須藤公園	千駄木3-4	4824.8	昭和9年2月10日	昭和25年10月1日	日本庭園、滝、池、藤棚
4	駒込公園	本駒込3-18	1913.2	昭和11年12月1日	昭和25年10月1日	球技場
5	新花園	湯島2-31	1036.5	大正15年9月25日	昭和46年6月1日	チューリップ
6	清和公園	本郷4-22	1445.3	昭和26年11月1日	昭和27年4月1日	サクラ
7	白山公園	白山5-31	1590.1	明治24年5月26日	昭和28年4月1日	アジサイ
8	江戸川公園	関口2-1	13204.0	大正8年5月25日	昭和28年4月1日	流れ、サクラ、遊歩道
9	大塚窪町公園	大塚3-26	4971.4	昭和26年11月1日	昭和28年4月1日	球技場
10	久堅公園	小石川5-27	939.4	昭和26年11月1日	昭和28年4月1日	
11	竹早公園	小石川5-9	7525.0	昭和28年9月1日	昭和28年9月1日	壁打ちテニス、竹早テニスコート
12	窪町東公園	大塚3-30	7559.2	昭和28年9月1日	昭和28年9月1日	流れ、滝、サクラ、彫刻
13	大塚仲町公園	大塚3-12	1257.8	昭和30年3月1日	昭和30年3月1日	
14	富士前公園	本駒込5-17	1965.3	昭和37年1月29日	昭和38年2月25日	
15	磔川公園	春日1-15	9328.2	昭和39年8月1日	昭和40年4月1日	噴水、花壇、カスケード
16	切通公園	湯島4-6	2774.8	昭和32年11月9日	昭和40年4月1日	花壇
17	神明公園	本駒込4-13	2219.8	昭和40年6月28日	昭和40年6月28日	球技場
18	動坂公園	本駒込4-18	2770.6	昭和40年6月28日	昭和40年6月28日	球技場
19	新大塚公園	大塚1-8	5728.5	昭和40年11月1日	昭和40年11月1日	球技場、サクラ
20	文京宮下公園	千石4-23	3539.0	昭和41年7月7日	昭和41年7月7日	球技場
21	神明北公園	本駒込5-67	1048.6	昭和41年7月7日	昭和41年7月7日	
22	お茶の水公園	湯島1-4	1295.4	昭和41年7月7日	昭和41年7月7日	
23	千石公園	千石1-4	802.6	昭和42年9月16日	昭和42年9月16日	
24	関口台公園	関口3-11	5225.3	昭和46年3月23日	昭和46年3月23日	日本庭園、池、紅葉
25	神明都電庫跡公園	本駒込4-35	1905.4	昭和50年4月1日	昭和50年4月1日	じゃぶじゃぶ池、都電
26	新江戸川公園	目白台1-1	18546.9	昭和36年9月14日	昭和50年4月1日	日本庭園、池、サクラ、紅葉、雪吊り
27	小日向公園	小日向1-11	787.9	昭和51年3月31日	昭和51年3月31日	
28	駕籠町公園	本駒込2-10	826.0	平成10年3月27日	平成10年3月27日	
29	本郷給水所公苑	本郷2-7	7880.1	昭和52年4月1日	昭和52年4月1日	流れ、雑木林、池、ため池、バラ園、彫刻
30	六義公園	本駒込6-16	12187.8	昭和52年4月30日	昭和52年4月30日	ミニアスレチック、六義公園運動場
31	後楽公園	後楽1-6	5768.8	昭和53年4月1日	昭和53年4月1日	後楽公園少年野球場
32	千駄木公園	千駄木5-43	769.6	昭和61年1月20日	昭和61年1月20日	
33	教育の森公園	大塚3-29	21171.4	昭和61年10月13日	昭和61年10月13日	半月池、じゃぶじゃぶ池、サクラ、彫刻、広場、樹林
34	駒込林町公園	千駄木3-15	852.9	昭和24年4月1日	平成3年4月1日	
35	西片公園	西片2-3	787.8	昭和24年4月1日	平成3年4月1日	
36	関口三丁目公園	関口3-2	874.5	昭和44年10月9日	平成3年4月1日	
37	千石緑地	千石1-6	1243.5	平成6年6月1日	平成6年6月1日	樹林
38	春木町公園	本郷3-43	666.9	昭和43年6月13日	平成14年4月1日	噴水
39	大塚坂下町公園	大塚6-10	1212.0	平成15年4月1日	平成15年4月1日	
40	はつね広場	小石川1-9	104.5	平成16年3月8日	平成16年3月8日	
41	小石川三丁目緑地	小石川3-24・22	254.7	平成17年4月1日	平成17年4月1日	
42	団子坂上広場	千駄木5-4	188.0	平成19年4月1日	平成19年4月1日	
43	目白台運動公園	目白台1-19・20	30381.0	平成21年4月1日	平成21年4月1日	多目的広場、テニスコート、フットサルコート、芝生広場、斜面地広場、噴水池、サクラ、樹林、わんわん広場

■市民緑地（計1件）

番号	名称	所在地	面積(m ²)	区開園年月日
1	千駄木ふれあいの杜	千駄木1-11	1108.5	平成13年10月

■都立公園（計2件）

番号	名称	所在地	面積(m ²)
1	小石川後楽園	後楽1-6	70847.2
2	六義園	本駒込6-16	87809.4

■準公園（計2件）

番号	名称	所在地	面積(m ²)
1	占春園	大塚3-29	12241.2
2	小石川植物園	白山3-7	161588.0

出典：土木現況(文京区提供)・文京区HP

人の活動

■文の京都市景観賞(景観づくり活動賞)受賞活動主体

開催回(年度)	受賞活動主体
第1回(平成13年)	文京の歴史・文化研究会 関口台町小学生
第2回(平成14年)	-
第3回(平成15年)	文京歴史的建物の活用を考える会
第4回(平成16年)	あるく・さぐる・えがく～文京描く会
第5回(平成17年)	鶴見芳雄さん、成澤まさ江さん
第6回(平成18年)	文の京ロード・サポート播磨坂
第7回(平成19年)	緑のごみ銀行
第8回(平成20年)	千駄木の森を考える会
第9回(平成21年)	千駄木三丁目南部町会
第10回(平成22年)	大塚地区町会連合会

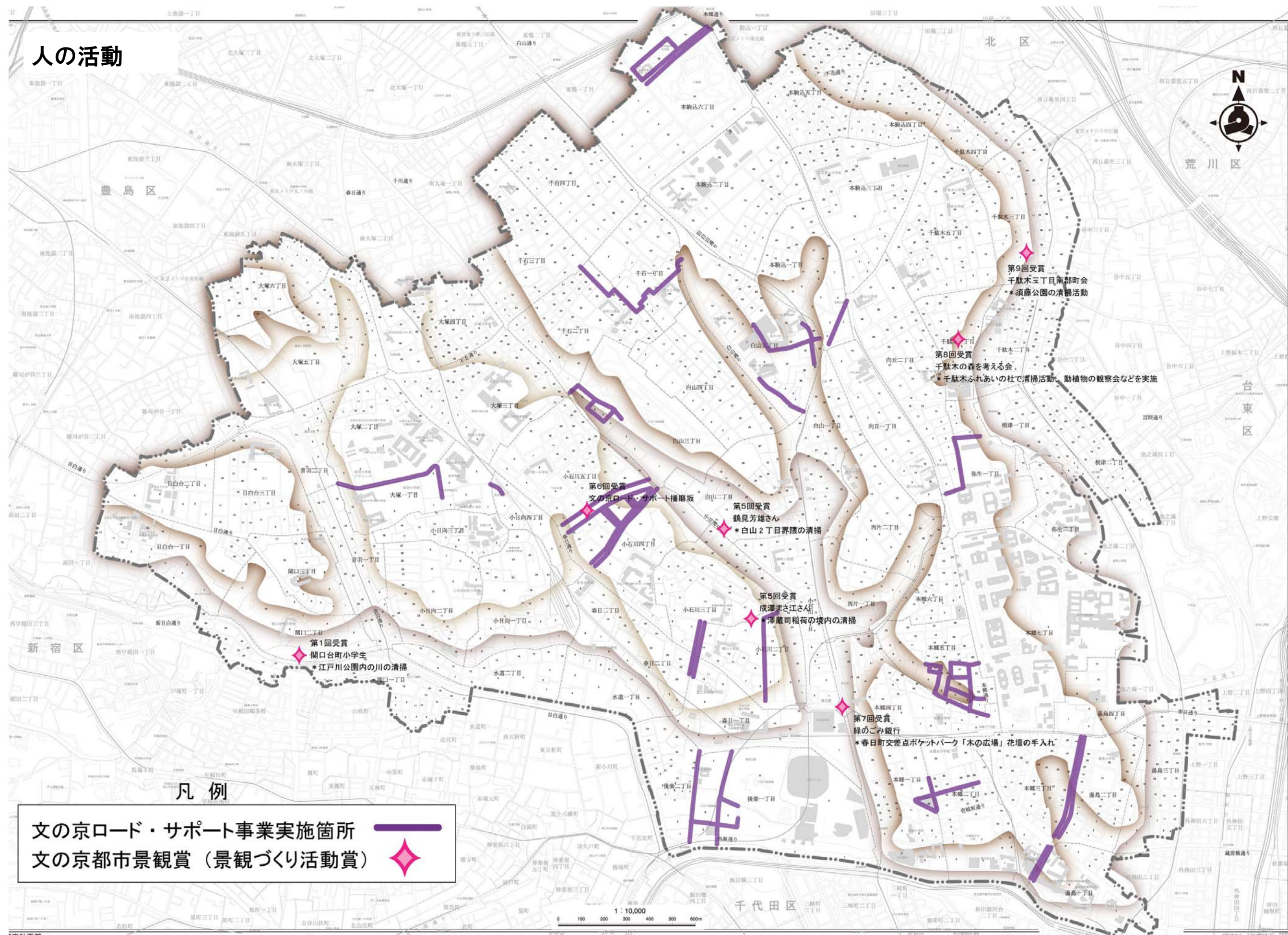
出典:文京区HP

■文の京ロード・サポート

番号	登録名	実施箇所
1	ロード・サポート播磨坂	播磨坂
2	NPO法人 まわり住民の会	本郷4・5丁目商店街周辺
3	共同印刷グループ ロード・サポートチーム	吹上坂周辺
4	(財)日本サッカー協会及び金花通り商店振興会	サッカー通り
5	ロード・サポート「青年」の散歩会	東大農学部周辺
6	千石林町美化委員会	林町町会・千石2丁目商店街周辺
7	白山上共栄会	白山上共栄会商店会周辺
8	東洋学園大学クリーンキャンペーンチーム	東洋学園大学周辺
9	文京学院大学女子高等学校	学校周辺・六義園裏通り植樹帯
10	小石川後楽園周辺をきれいにする会	小石川後楽園・小石川運動場周辺
11	伝通院前通り三盛会花みずきの会	伝通院前通り
12	ロード・サポート京華通り	京華通り
13	白山御殿町クリーンクラブ	小石川植物園周辺
14	跡見エコキャンパス研究会	茗荷谷駅周辺・跡見女子大学及び筑波大附属中学校周辺
15	東洋大学環境改善サークルToSKY	東洋大学周辺
16	坂道の会	富坂～六角坂周辺

出典:文京区提供資料

人の活動



凡例

- 文の京ロード・サポート事業実施箇所
- 文の京都市景観賞 (景観づくり活動賞)